

# ハーフインターは何カ所か

## 県内19カ所に計画されている



菊地光明議員  
( 新 生 会 )

**問** 県内の三陸沿岸道路については宮古以南が全線開通し、残るは宮古以北の一部区間だけとなった。町は完成後ハーフインターへ解消に向けて活動をするとのことであったが、このハーフインター問題は町だけでなく全県で取り組む問題と思う。現在、県内の三陸沿岸道路にハーフインターは何カ所計画され、その解消に向けて今後どのような活動をするのか。

**佐藤町長** インターチェンジは県内に41カ所計画されている。そのうちハーフインターチェンジは19カ所計画されており、現在10カ所が供用されている。フル化について三陸国道事務所から

は、三陸沿岸道路全線供用後、交通量やインターチェンジの利用状況、周辺の開発状況を踏まえ、必要性等について検証を行うと聞いており、今後は整備に必要な道路関連予算の確保に関し、期成同盟会等と連携を図っていく。

**意見** 山田北インターのフル化を早期に実現するためには期成同盟会等と連携を図ることも大事であるが、町独自に町当局と議会並びに町民の方々と共通認識を持つことが大事と考える。前回の質問で命の道としての共通認識を確認しているが、今後はそれに豊間根地区にとつて生活圏は宮古地区になることを全員の共通認識として対応していくことを指摘し今後も議論を重ねたい。



フル化に向けて共通認識の必要な山田北インター

### 浜川目地区の護岸工事は

#### 旧防潮堤の撤去工事に入る

**問** 浜川目地区から処理場までの護岸工事の整備計画は。

**要望** 浜川目地区の護岸前の海域は町内でも数少ないマツモ、ノリなどの海藻類の重要な磯根漁場である。これらの漁場に影響が及ばない工事を希望する。

**町長** 現在、防潮堤と重複する町道の付け替え工事等を行っている。順次、旧防潮堤の撤去工事を行う予定である。

希望する。



採貝藻漁場として重要な浜川目地区海岸

### 道の駅の存続は

#### 現状のまま存続させる

**問** 船越地区の道の駅について、災害時や船越地区の生活を考えると存続させるべきと思うが。

**町長** 柳沢地区に新たな観光拠点を整備した場合でも、これまでどおり物販機能やトイレ休憩機能を有する施設として存続させたいと考えている。